※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和5年度　国語科

教科	国語	科目	(学)発展国語Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	精選「論理国語」(三省堂) / 精選「文学国語」(三省堂) 「最新国語便覧」新訂版 (浜島書店) 「語彙力をつける　入試漢字 2600」(筑摩書房) 「錬成現代文 大学入学共通テスト対策新装版」(尚文出版) 「読書ノート」						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- 国語学習において身につけるべきは、「聞く」・「読む」・「話す」・「書く」という四つの「言葉の力」です。この四つの力を駆使することで、自分や他者に固有の「想い・考え」を一般化して、理解・伝達ができるようになります。このような「言葉の力」を身に付けて、高めていくことが、2 年次における国語学習の目標です。
- 「発展国語Ⅰ」においては、文章の読解・記述やプレゼンテーションを通じて、上記の「言葉の力」を養います。どの学習内容も 1 年次のころよりも難解・複雑になりますが、自分が生きていく上での大きな力にするように本格的な勉強に取り組んで下さい。
- また「発展国語Ⅰ」においては、1 年次とは異なり評論や文学という文章ジャンルの区別無く近代以降の文章全般を取り扱います。文章ジャンルによる差異を学ぶと同時に、そのジャンルの差異を横断するようなダイナミックな学習に取り組んで下さい。

2 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

1. 生涯に渡る社会生活を通じて、自己理解や他者との関係を構築するのに必要な知識・技能を身につける。
2. 論理的に考え、豊かに想像する力、物事を批判的に捉え、深く共感する力、互いの考えを伝え合う力を伸ばし、自己と他者とが協同する社会の中での位置取りや振舞い方を洗練することができるようになる。
3. 言葉の技能的側面に加え価値的側面を認識し、日常生活や専門的な場においてどのような言葉が用いられているのかを意識化するために、生涯を通じて言語活動全般に取り組んで、その発展に貢献しようとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉が思考や認識に果たす役割や漢字・語彙・修辞などについて、理解している。 文章の構造や論理について理解している。	「聞くこと」「読むこと」「話すこと」・「書くこと」のすべてに関して、論理的に考える力、豊かに想像する力、的確に表現したり理解したりする力を伸ばしている。	a「知識・技能」および b「思考・判断・表現」の内容に即した言語活動について、主体的に学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
通年	読む/書く ［教材］ 読書ノート	a. 読書やその感想・批評の記述を通じて、広い教養を身に付けている。 b. ［読/書］:読書を通じて考えたことを他者に伝わるよう工夫して書いている。 c. 読書に親しみ、その上で自己の内省に留まらず、幅広い領域に対する新たな知見を得て、ものの見方や考え方を広げたり深めたりしようとしている。	提出課題	提出課題	提出課題
	話す/聞く ［教材］ プレゼンテーション	a. 話し言葉の特徴を理解し、的確な表現を用いている。 b. ［話/聞］:話し手は聞き手に考えを伝えるための工夫している。聞き手は関心を持ちながら発表を聞いている。 c. a,b の内容に即し、主体的に学習に取り組んでいる。	発表	発表 提出物	発表 提出物
前期	読むⅠ ［教材］ ・説明的文章 ・文学的文章	a. 言葉や文構造が認識や思考に与える働きを理解している。 b. ［読］:文章ごとの特性を踏まえた上で、文章展開を的確に捉えて内容を理解し、自分なりの考えを深めている。 c. a,b の内容に即し、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 成果物	定期考査 成果物	成果物 振り返りシート
	書くⅠ ［教材］ ・説明的文章 ・文学的文章 ・実用的文章	a. 論理構成や表現技法について理解している。 b. ［書］:文章や資料等をもとに考えたことについて、自分の主張や思いが的確に伝わるように、論理構成や表現技法に注意しながら書いている。 c. a,b の内容に即し、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 成果物	定期考査 成果物	成果物 振り返りシート
後期	読むⅡ ［教材］ ・説明的文章 ・文学的文章	a. 文章展開における抽象度の差異や文学的修辞技法を理解している。 b. ［読］:文章ごとの特性を踏まえた上で、文章展開を的確に捉えて内容を理解し、評価や批判などの考えを深めている。 c. a,b の内容に即し、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 成果物	定期考査 成果物	成果物 振り返りシート
	書くⅡ ［教材］ ・説明的文章 ・文学的文章 ・実用的文章	a. 論理構成や表現技法について理解して、実際に用いている。 b. ［書］:文章や資料等をもとに考えたことについて、自分の主張や思いが的確に伝わるように、論理構成や表現技法に注意しながら書いている。また自分の文章を見直し、よりよりものになるよう推敲している。 c. a,b の内容に即し、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 成果物	定期考査 成果物	成果物 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…（　10　）時間

・書くこと　…（　30　）時間

・読むこと　…（　30　）時間